



みのたくかにと

「絵本とわらべうたの会」2024年度⑩

日時 3月18日(火)10:00~11:00
場所 西公民館 1階 集会室

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひと時を過ごします。赤ちゃんもお母さんのうた声と一緒にゆっくり身体をゆすられて楽しめます。絵本の読み聞かせもあります。

必要な方は敷物やバスタオルをご用意ください。

市民読書サポーターのいる日程 3月

市立中央 図書館 (10~12時)	1日(土)	8日(土)
	15日(土)	22日(土)
	29日(土)	
西公民館	18日(火)	10:30~11:30

おすすめの本の紹介 (小学校高学年~中学生)

ゆかいなホーマーくん



ゆかいなホーマーくん

ロバート・マックロスキー 作
石井桃子 訳
岩波少年文庫

アメリカの田舎町に住むホーマーくんの周りではユーモラスな事件が次々起こる。

ホーマーくんはペットにしているスカンクと共に大活躍して泥棒を捕まえる。また、食堂をやっているホーマーくんのおじさんは新しい機械に目がない。新式の自動ドーナツ製造機の操作をまかされたホーマーくん。そこへやってきたご婦人のお客が、私に材料の種を作らせてとやり始めた。するとドーナツが店中に並べきれないほどできてしまう。しかもそのご婦人のダイヤの腕輪がドーナツの中に紛れ込んだらしい。さて、この事件はどんな風に解決するのか…？

風にのってきたメアリー・ポピンズ



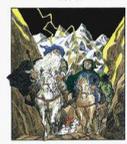
風にのってきたメアリー・ポピンズ

P.L.トラヴァース 作
林 容吉 訳
岩波少年文庫

メアリー・ポピンズは、バンクス家の子どもたちの世話をすするため、強い東風の吹く日に風に乗ってやってきた。彼女は、階段の手すりを下から上へすべり上がったり、からっぽのはずの鞆から、エプロン、歯ブラシ、寝巻、はては寝台まで取り出したり……。メアリー・ポピンズが来てから、子どもたちは心躍る不思議な体験をすることになる。

気取り屋だが威厳があり、子どもにこびない主人公は、一度読んだら忘れられない印象を残す。続編に『帰ってきたメアリー・ポピンズ』『とびらをあげるメアリー・ポピンズ』『公園のメアリー・ポピンズ』がある。

ホビットの冒険



ホビットの冒険(上)・(下)

J.R.R.トールキン 作
勢多貞二 訳
岩波少年文庫

平穏な暮らしを好む小人、ホビット族のビルボの家に、ある日突然 13 人のドワーフ小人が集合し、竜に奪われた先祖の宝物を取り戻す計画を練る。ビルボは魔法使いガンダルフの推薦で心ならずもその冒険の旅に加わることになる。一行はトルロヤゴブリンにつかまったり、数々の苦難に遭う。はじめはへまばかりしていたビルボだが、偶然手に入れた魔法の指輪の力を持ち前の気質を発揮して次第にみんなの信頼を得ていく。

『指輪物語』(評論社)はこの本の続編として執筆された壮大なファンタジー。

若草物語



若草物語

L・M・オールコット 作
矢川澄子 訳
T・チューダー 画
福音館書店

アメリカの南北戦争の時代を背景にした4人姉妹の物語。従軍牧師として戦地にいる父親の帰りを待ちながら、マーチ家の4人姉妹は、父と約束した「おのれのなすべきことを忠実に果たし、小さな婦人となるように」の言葉に従い、貧しくも信心深い母親の愛情に見守られながら、それぞれが自分の欠点を克服し、成長していこうと努力する。さらに次女で作家志望のジョーが、隣人でお金持ちの祖父と二人暮らしのローリー少年との親交を深める中で、次々とおこる試練に皆で知恵を出し合い乗り越えていく、つつましくあたたかな日常が描かれている。